「いのち」と「愛」に着目する子育て/岡本富郎著より

クリスチャンとして保育学者としてのべ 5000 人の相談を受けてきたエキスパートの先生です

子育てワンポイント 励ましのことば23

バックナンバーはHPからご覧頂けます

いじめは「生き方の問題」

いじめは何よりも、当の子どもにとって重大問題です。 いじめられて不登校になったり、体調を悪くしたり、また 親が気付かないまま自殺する子も後を絶ちません。 これは当事者の問題でなく、学校教育をはじめ、社会全 体、国全体の問題として捉えなければなりません。

考えたい事は、現在いじめで問題になっているのは、

いじめを行う子どもはいうまでもなく、周りで見ている子ども、無関心な子どもがいるということです。クラスの中で、いじめを止める子どもがいれば、いじめは間違いなく減るのです。いじめに関心をもては、それを許さない空気が教室の中に漂い始めます。

「いじめ」を重大視して、東京中野区の中学校で、「生き方問題」としていじめを取り上げました。生徒たちは、「いじめのビデオ」を見、『私のいじめられ日記』という本を読み、それらの感想を文集にして、全員が読んで、熱のこもった討論を重ねました。この生徒たちのいじめの学習は、単にいじめを減らし、なくすことではなく、ひとり一人が、人間としてどうあったらよいか、どう自分んが人間として変容していけばよいかに主眼が置かれました。その真剣な学習の結果、見事にいじめが減ったそうです。

いじめを人間の生き方の問題として捉える時に、いじめや自殺は確実に減るのです。社会の中のいじめや暴力をなくしてゆくためにも、弱い立場にある人たちへの共感の心を私たちひとりひとりが、自分の「人格」の中に根付かせてゆく必要があります。

教会では「いのち」の大切さを聖書から毎週お話しています。「いのち」への関心を高めながら、 お互いがグッドライフを送れるように支え合ってゆきたいと思います。瀬戸カルバリーチャペル 倉知契







